

I 教育と連携

持続可能な社会の実現をめざして、大学が教育機関として果たすべき使命の一つは、なによりもまず、持続可能な社会を構築する担い手を育成することにあります。そしてそのためにいま大学に求められていることは、地域、自治体、市民団体、事業所、NPO等、様々な主体との連携・協力と、それを推進するネットワークの形成です。一こうした課題に対して大学はいかに取り組むか。本グループでは、教員・職員・学生・企業等、それぞれの立場から、エコ活動、環境教育、学生参画、人材育成、地域連携といった5つのキーワードのもとに、以下のような内容について様々な実践事例やアイデアが紹介され、自由活発な意見交換が行われます。

エコ活動：清掃活動、自然保護活動、イベント参加、キャンペーン等

環境教育：ESD、PBL、アクティブラーニング、基礎教育と専門教育等

学生参画：学生と教職員の協働、大学のサポート体制、大学間連携等

人材育成：ボランティア、インターンシップ、エコリーダー養成等

地域連携：市民・行政・企業・NPOとの連携、地域活性化、世代間交流等

今回はとくに一般教育としての環境教育、及び学生と教職員の協働による環境活動についてのミニ講演を予定しています。さらにそれを踏まえての討議はもちろん、参加者の皆様の（分野や部署を問いません）ご関心・ご要望を踏まえた討議内容も検討させていただきます。

II 化学物質

本グループは、前回に引き続き、化学物質適正管理について議論を展開したいと考えております。

1日目は、米国の大学における安全衛生管理の実情について、現地で10年間以上、安全衛生にかかるコンサルティング等を担ってこられたJXTGエネルギー株式会社の方からの講演を予定しております。米国での取り組みを知ることで、普段私たちが意識しないような点に気づかされたり、大学の経営層に訴えかけるときに活用できるようなキーワードを見つけたりすることができればと考えております。

2日目は前回に引き続き、本グループをさらに小グループに分けての討議を行います。小グループ討議について、前回に引き続き、化学物質管理の取組状況に各大学で差があることも考慮したグループ分けとなっております。また、化学物質管理業務に従事して3年未満の方を対象としたグループもございます。

また現在、化学物質に関連する安全e-learning教材を私大環協として作ることができればと検討しております。今回のグループ討議の中で皆様からの要望もお伺いし、各大学で活用できるものを目指していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

III 施設・設備

このグループでは施設・設備に関する事項について取り上げますが、全体討議と、より多くの方に議論に参加していただくためのサブグループによる討議を設定しました。

全体討議は、千葉工業大学の方に研修の全体会場となっている4号館の大規模改修について決定経緯や改修内容などをご講演いただき、その講演を踏まえて討議します。

サブグループによる討議は、少人数で討議する事で、より掘り下げた議論が展開することを期待します。グループは以下の3テーマを設定しました。

A エネルギー系：省エネ・創エネ・蓄エネ、CO2排出量削減などエネルギーに関する事項

B 計画系：健康・快適・アメニティ・ウェルビーイング・リード認証

C 解体・管理運営系：施設設備管理、リニューアル、マネジメント

それぞれのグループの中で「話題提供」や「グループ内講演」をしていただき、それに基づき議論を進めると共に、参加者からの疑問や問題提起に参加者の皆様が積極的に意見を出す討議としたいと考えます。